

中小企業景況調査報告書

平成29年度第1・四半期（4～6月）

浅野公園



Asano Park

一宮市観光協会提供

目 次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 49社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- ・ 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- ・ 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- ・ 調査の実施（方法） 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- ・ 調査対象企業数 100事業所。

- ・ 調査対象企業の業種 次の表のとおり

（1）景況調査対象事業所（100）の内訳

業 種	事業所数
建設業	7
製造業	61
（繊維製造業）	（49）
（その他製造業）	（12）
卸売業	12
小売業	11
サービス業	9
合 計	100

（2）繊維製造業対象事業所（49）の内訳

業 種	事業所数
撚糸業	6
織物製造業	23
染色整理加工業	9
縫製加工業	3
そ の 他	8
合 計	49

- ・ 分析方法
 1. DI (Diffusion Index) 分析
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値
 2. DI分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。
- ・ 分析項目
 1. 前年同期比
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員
 2. 前期比
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り
- ・ その他の分析
 1. 設備投資 実施状況数
 2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算

}	1位3ポイント
	2位2ポイント
	3位1ポイント

今 期 の 概 況

景況は緩やかな回復基調にある。

1. 前年同期比D I 値の分析

今期(表 1、3 参照)は、売上、資金繰りのDI 値で、前期実績を上回り、採算のDI 値で前期実績横ばい、業況、従業員のDI 値で前期実績を下回った。

来期は、業況、売上、採算のDI 値で、今期実績を上回り、資金繰り、従業員のDI 値で、今期実績を下回る見通し。

指標別の状況

業況DI 値は、前期実績 23.0 から 25.0 (2.0 ポイント減) となり、来期は 18.0 (7.0 ポイント増) となる見通し。

売上DI 値は、前期実績 31.0 から 26.0 (5.0 ポイント増) となり、来期は 25.0 (1.0 ポイント増) となる見通し。

採算DI 値は、前期実績 22.0 と同様、横ばいとなり、来期は 20.0 (2.0 ポイント増) となる見通し。

資金繰りDI 値は、前期実績 8.0 から 0.0 (8.0 ポイント増) となり、来期は 5.0 (5.0 ポイント減) となる見通し。

従業員DI 値は、前期実績 1.0 から 4.0 (5.0 ポイント減) となり、来期は 9.0 (5.0 ポイント減) となる見通し。

繊維製造業の状況

今期(表 2、5 参照)は、業況、売上、採算、資金繰り、従業員すべてのDI 値で、前期実績を上回った。

来期は、業況、売上、採算のDI 値で、今期実績を上回り、資金繰り、従業員のDI 値で、今期実績を下回る見通し。

2. 前期比D I 値の分析

今期(表 7、8 参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI 値で、前期実績を上回った。

指標別の状況

業況DI 値は、前期実績 15.0 から 12.0 (3.0 ポイント増) となった。

売上DI 値は、前期実績 30.0 から 1.0 (29.0 ポイント増) となった。

資金繰りDI 値は、前期実績 8.0 から 1.0 (7.0 ポイント増) となった。

繊維製造業の状況

今期(表 9、10 参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI 値で、前期実績を上回った。

3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(37 件、24 事業所)に比べ件数、事業所ともほぼ横ばい。

今期の実績(表 4、6 参照)は 36 件(23 事業所)。その主な内訳は、『生産設備』13 件、『車両・運搬具』『付帯施設』『O A 機器』各 5 件となっている。

来期の計画(表 4、6 参照)は 36 件(21 事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』11 件、『車両・運搬具』7 件、『O A 機器』5 件となっている。

4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表 11 参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『需要の停滞』『従業員の確保難』『製品等単価の低下・上昇難』を挙げており、『従業員の確保難』が浮上してきている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A 社（建設業）

土木建設業界は、公共工事の減少が年々続いている。今後も、現場の人材不足の影響もあり、厳しい業況が続くものとみられる。当社としては、業務改善、人材育成強化を図ると共に社会貢献、町内の美化活動に参加するなど地域から信頼される存在になれるようにしたい。

B 社（製造業 <燃糸>）

3月～8月は冬物の受注シーズンだが、例年に比べ約5%の売上減少。その要因は、昨年の在庫が多く残っていること、主力取引先での業績不振による受注減少にある。

当業界は、加工賃の値上げも望めず、少ロット、短納期で、売上や収益に結びつかない。

C 社（製造業 <織物>）

当社の売上は、百貨店向け売上の減少やネット販売の増加等の影響から年々減少傾向にある。今年度も主力取引先の業績不振の影響で厳しい見通しである。

D 社（製造業 <染色整理>）

反物の最盛期であったこと、取引先との条件見直しができたことなどから売上高は増え、資金繰りも好転した。

E 社（製造業 <繊維 その他>）

今期は、既存取引先からの受注打ち止めに伴い減収を余儀なくされた。この落ち込みをカバーすべく、新規受注に注力するとともに機械改造を計画している。

F 社（製造業<その他>）

引き合いのあった業者との取引が成立し、4月の売上は昨年比30%増加した。今後も受注増加が見込めることから、新しい機械に交換した。

G 社（卸売業）

ターゲットとする中高年齢層はネット通販の利用は少ないため、当社が行うアナログ的なカタログ販売は、一定量の市場を確保している。また、当社の顧客層は流行のサイクルが長いいため、商品企画はしやすい。

H 社（卸売業）

当期は、5月に連休が多く、また、観光地でもないため取引先の稼働日が少なく販売減少にあるが、消費低迷とネット販売の低価格化により環境は厳しい状況にあるため、例年以上に落ち込みが激しい。

I 社（小売業）

前期はバレンタインやホワイトデーと年間でも売上の大きい時期。最近では子供会や幼稚園からの注文も増加しており固定客を確保している。

景況の推移（全業種100事業所）

表 1

～ 前年同期比～

	H28. 4～6月	H28. 7～9月	H28. 10～12月	H29. 1～3月	今 期 H29. 4～6月	来期の見通し H29. 7～9月
業 況	▲21.0	▲28.0	▲35.0	▲23.0	▲25.0	▲18.0
売 上	▲16.0	▲34.0	▲35.0	▲31.0	▲26.0	▲25.0
採 算	▲16.0	▲27.0	▲26.0	▲22.0	▲22.0	▲20.0
資金繰り	▲ 9.0	▲11.0	▲12.0	▲ 8.0	0.0	▲ 5.0
従 業 員	▲ 4.0	▲ 4.0	▲ 2.0	1.0	▲ 4.0	▲ 9.0

景況の推移（繊維製造業49事業所）

表 2

～ 前年同期比～

	H28. 4～6月	H28. 7～9月	H28. 10～12月	H29. 1～3月	今 期 H29. 4～6月	来期の見通し H29. 7～9月
業 況	▲30.6	▲46.9	▲55.1	▲44.9	▲42.9	▲32.7
売 上	▲24.5	▲49.0	▲49.0	▲44.9	▲40.8	▲28.6
採 算	▲20.4	▲38.8	▲40.8	▲38.8	▲32.7	▲24.5
資金繰り	▲16.3	▲18.4	▲22.4	▲10.2	▲ 4.1	▲12.2
従 業 員	4.1	▲ 8.2	▲ 2.0	0.0	2.0	▲ 6.1

業種別集計表 (全業種100事業所)

～ 前年同期比 ～

表 3

	事業所数	7	61	12	11	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	4 (3)	8 (10)	0 (1)	2 (2)	1 (0)	15 (16)	▲ 25.0 (▲18.0)
	不変	3 (3)	23 (26)	7 (8)	6 (7)	6 (6)	45 (50)	
	悪化	0 (1)	30 (25)	5 (3)	3 (2)	2 (3)	40 (34)	
売上	増加	4 (2)	6 (10)	0 (0)	3 (1)	2 (2)	15 (15)	▲ 26.0 (▲25.0)
	不変	2 (3)	26 (24)	5 (6)	7 (8)	4 (4)	44 (45)	
	減少	1 (2)	29 (27)	7 (6)	1 (2)	3 (3)	41 (40)	
採算	好転	3 (2)	6 (7)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	12 (10)	▲ 22.0 (▲20.0)
	不変	2 (3)	32 (35)	8 (8)	7 (8)	5 (6)	54 (60)	
	悪化	2 (2)	23 (19)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	34 (30)	
資金繰り	好転	2 (0)	5 (2)	0 (1)	0 (0)	3 (2)	10 (5)	0.0 (▲5.0)
	不変	5 (7)	49 (51)	11 (11)	10 (10)	5 (6)	80 (85)	
	悪化	0 (0)	7 (8)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	10 (10)	
従業員	増加	1 (1)	8 (5)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	11 (7)	▲ 4.0 (▲9.0)
	不変	6 (4)	44 (47)	9 (10)	10 (10)	5 (6)	74 (77)	
	減少	0 (2)	9 (9)	3 (2)	1 (1)	2 (2)	15 (16)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ()内は来期

新規設備投資集計表 (全業種100事業所)

表 4

設備投資	今期	実施した ※1	23	来期	計画している ※2	21
	(事業所数)	実施していない	77	(事業所数)	計画していない	79

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	1 件	2 件	5. 付帯施設	5 件	4 件
2. 工場建物	4 件	2 件	6. O A 機器	5 件	5 件
3. 生産設備	13 件	11 件	7. 福利厚生施設	1 件	1 件
4. 車両・運搬具	5 件	7 件	8. その他	2 件	4 件
			合計	36 件	36 件

複数回答可

業種別集計表 (繊維製造業49事業所)

～ 前年同期比 ～

表 5

	事業所数	6	23	9	3	8	49	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	1 (1)	1 (2)	2 (0)	0 (1)	2 (2)	6 (6)	▲ 42.9 (▲32.7)
	不変	4 (4)	5 (6)	2 (6)	3 (2)	2 (3)	16 (21)	
	悪化	1 (1)	17 (15)	5 (3)	0 (0)	4 (3)	27 (22)	
売上	増加	1 (0)	2 (4)	1 (1)	0 (1)	1 (2)	5 (8)	▲ 40.8 (▲28.6)
	不変	4 (6)	7 (5)	4 (3)	3 (2)	1 (3)	19 (19)	
	減少	1 (0)	14 (14)	4 (5)	0 (0)	6 (3)	25 (22)	
採算	好転	0 (1)	1 (1)	2 (0)	0 (0)	2 (2)	5 (4)	▲ 32.7 (▲24.5)
	不変	4 (3)	9 (11)	3 (7)	3 (3)	4 (5)	23 (29)	
	悪化	2 (2)	13 (11)	4 (2)	0 (0)	2 (1)	21 (16)	
資金繰り	好転	1 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	4 (1)	▲ 4.1 (▲12.2)
	不変	5 (4)	18 (19)	7 (9)	3 (3)	6 (6)	39 (41)	
	悪化	0 (1)	4 (4)	1 (0)	0 (0)	1 (2)	6 (7)	
従業員	増加	1 (0)	3 (2)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	6 (2)	2.0 (▲6.1)
	不変	4 (4)	19 (20)	7 (9)	2 (3)	6 (6)	38 (42)	
	減少	1 (2)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	2 (2)	5 (5)	

※ 採算は経常利益で判断

新規設備投資集計表 (繊維製造業49事業所)

表 6

設備投資	今期	実施した ※1	10	来期	計画している ※2	11
	(事業所数)	実施していない	39	(事業所数)	計画していない	38

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	1 件	1 件	5. 付帯施設	1 件	1 件
2. 工場建物	0 件	0 件	6. O A 機器	2 件	2 件
3. 生産設備	9 件	6 件	7. 福利厚生施設	0 件	0 件
4. 車両・運搬具	0 件	2 件	8. その他	0 件	1 件
			合計	13 件	13 件

複数回答可

景況の推移 (全業種100事業所)

表 7

～ 前期比 ～

	H28.4～6月	H28.7～9月	H28.10～12月	H29.1～3月	今期 H29.4～6月
業況	▲ 4.0	▲26.0	▲23.0	▲15.0	▲12.0
売上	▲ 3.0	▲15.0	▲ 8.0	▲30.0	▲ 1.0
資金繰り	▲ 7.0	▲12.0	▲11.0	▲ 8.0	▲ 1.0

業種別集計表 (全業種100事業所)

表 8

～ 前期比 ～

	事業所数	7	61	12	11	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	3	10	0	0	1	14	▲ 12.0
	不変	3	34	9	7	7	60	
	悪化	1	17	3	4	1	26	
売上	増加	2	19	2	3	3	29	▲ 1.0
	不変	5	23	5	4	4	41	
	減少	0	19	5	4	2	30	
資金繰り	好転	2	3	0	0	4	9	▲ 1.0
	不変	5	51	12	9	4	81	
	悪化	0	7	0	2	1	10	

景況の推移 (繊維製造業49事業所)

表 9

～ 前期比 ～

	H28.4～6月	H28.7～9月	H28.10～12月	H29.1～3月	今期 H29.4～6月
業況	▲ 6.1	▲34.7	▲38.8	▲24.5	▲14.3
売上	▲ 2.0	▲10.2	▲28.6	▲40.8	0.0
資金繰り	▲12.2	▲16.3	▲22.4	▲12.2	▲ 6.1

業種別集計表 (繊維製造業49事業所)

表 10

～ 前期比 ～

	事業所数	6	23	9	3	8	49	D I
		擦糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	0	2	3	0	3	8	▲ 14.3
	不変	5	12	4	3	2	26	
	悪化	1	9	2	0	3	15	
売上	増加	3	7	4	0	2	16	0.0
	不変	3	6	3	3	2	17	
	減少	0	10	2	0	4	16	
資金繰り	好転	1	0	1	0	1	3	▲ 6.1
	不変	5	18	8	3	6	40	
	悪化	0	5	0	0	1	6	

『直面している経営上の問題点』の集計表

表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○従業員の確保難	○請負単価の低下・ 上昇難 ○民間需要の停滞	○官公需要の停滞
繊維製造業	○需要の停滞	○製品ニーズの 変化への対応	○原材料価格の上昇
製造業 (繊維製造業は除く)	○従業員の確保難	○製品(加工)単価の 低下・上昇難	○生産設備の不足・ 老朽化
卸売業	○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難	○商品在庫の過剰
小売業	○消費者ニーズの 変化への対応 ○販売単価の低下・ 上昇難 ○従業員の確保難 ○需要の停滞	○人件費の増加	○大型店・中型店の 進出による競争の 激化 ○事業資金の借入難
サービス業	○従業員の確保難	○人件費の増加	○需要の停滞

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	3
材料価格の上昇	0
材料の入手難	0
人件費の増加	3
材料費・人件費以外の経費の増加	2
請負単価の低下・上昇難	6
下請単価の上昇	0
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	12
熟練技術者の確保難	2
下請業者の確保難	3
官公需要の停滞	5
民間需要の停滞	6
その他	0
合 計	42

繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	2
新規参入業者の増加	4
製品ニーズの変化への対応	35
生産設備の不足・老朽化	31
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	33
原材料の不足	3
人件費の増加	21
原材料費・人件費以外の経費の増加	5
製品(加工)単価の低下・上昇難	30
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	3
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	10
熟練技術者の確保難	18
需要の停滞	75
その他 (過剰在庫、安物化)	5
合 計	278

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

製造業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	6
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	6
生産設備の不足・老朽化	8
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	6
原材料の不足	0
人件費の増加	6
原材料費・人件費以外の経費の増加	1
製品(加工)単価の低下・上昇難	10
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	11
熟練技術者の確保難	3
需要の停滞	7
その他 (人材不足)	1
合 計	65

卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	1
メーカーの進出による競争の激化	0
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	1
商品在庫の過剰	4
人件費の増加	1
人件費以外の経費の増加	3
販売単価の低下・上昇難	9
仕入単価の上昇	3
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	2
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	2
需要の停滞	25
その他 (海外生産増加)	2
合 計	59

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	3
同業者の進出	0
購買力の他地域への流出	2
消費者ニーズの変化への対応	5
店舗の狭隘・老朽化	1
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	4
人件費以外の経費の増加	0
販売単価の低下・上昇難	5
仕入単価の上昇	0
金利負担の増加	2
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	5
需要の停滞	5
その他 (通販)	3
合 計	38

サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	5
新規参入業者の増加	0
利用者ニーズの変化への対応	5
店舗施設の狭隘・老朽化	0
人件費の増加	8
人件費以外の経費の増加	1
利用料金の低下・上昇難	4
材料等仕入単価の上昇	0
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	15
熟練技術者の確保難	2
需要の停滞	6
その他 (大手保守業務終了に伴う売上の減少)	3
合 計	50

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

図 2

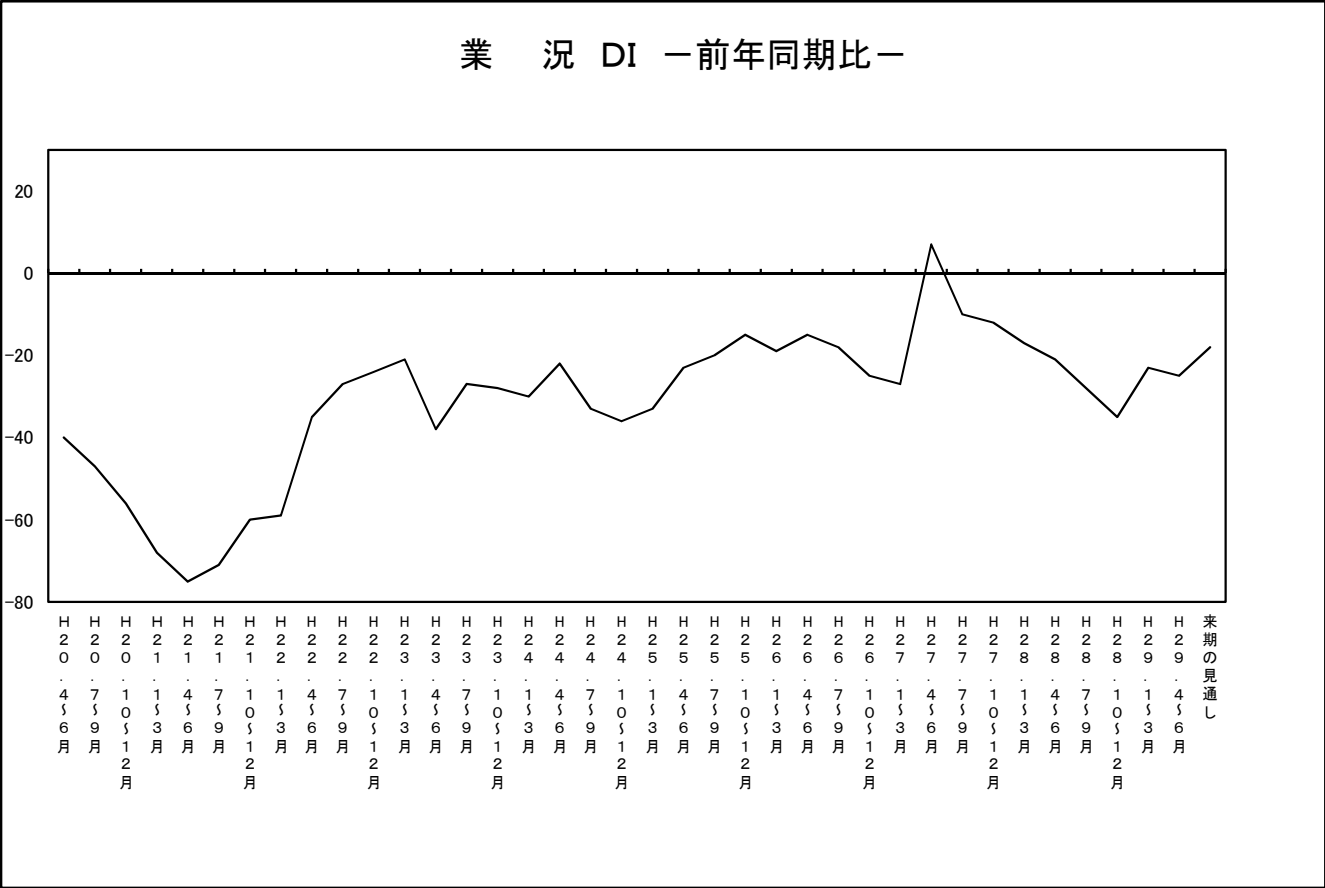


図 3

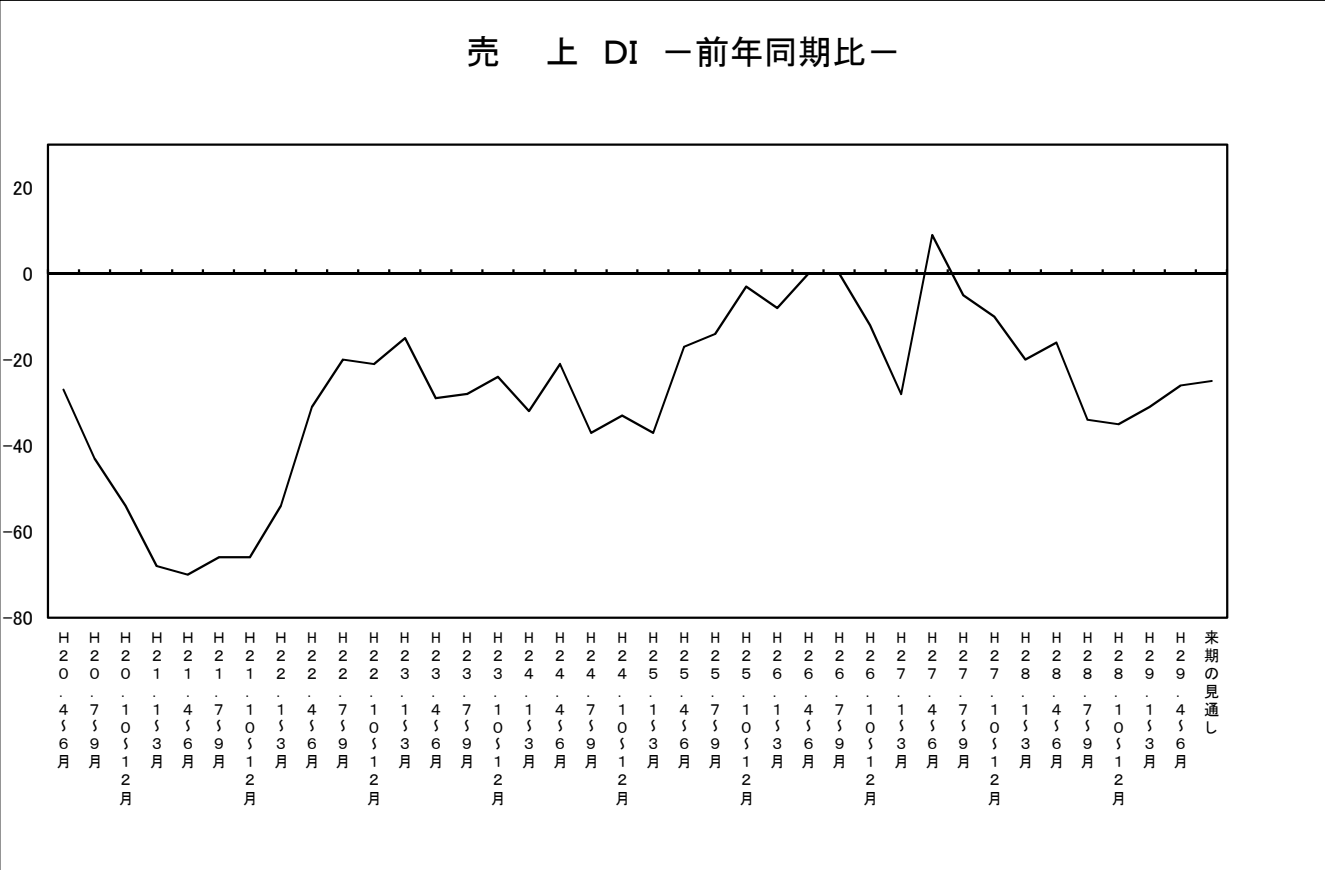


図 4

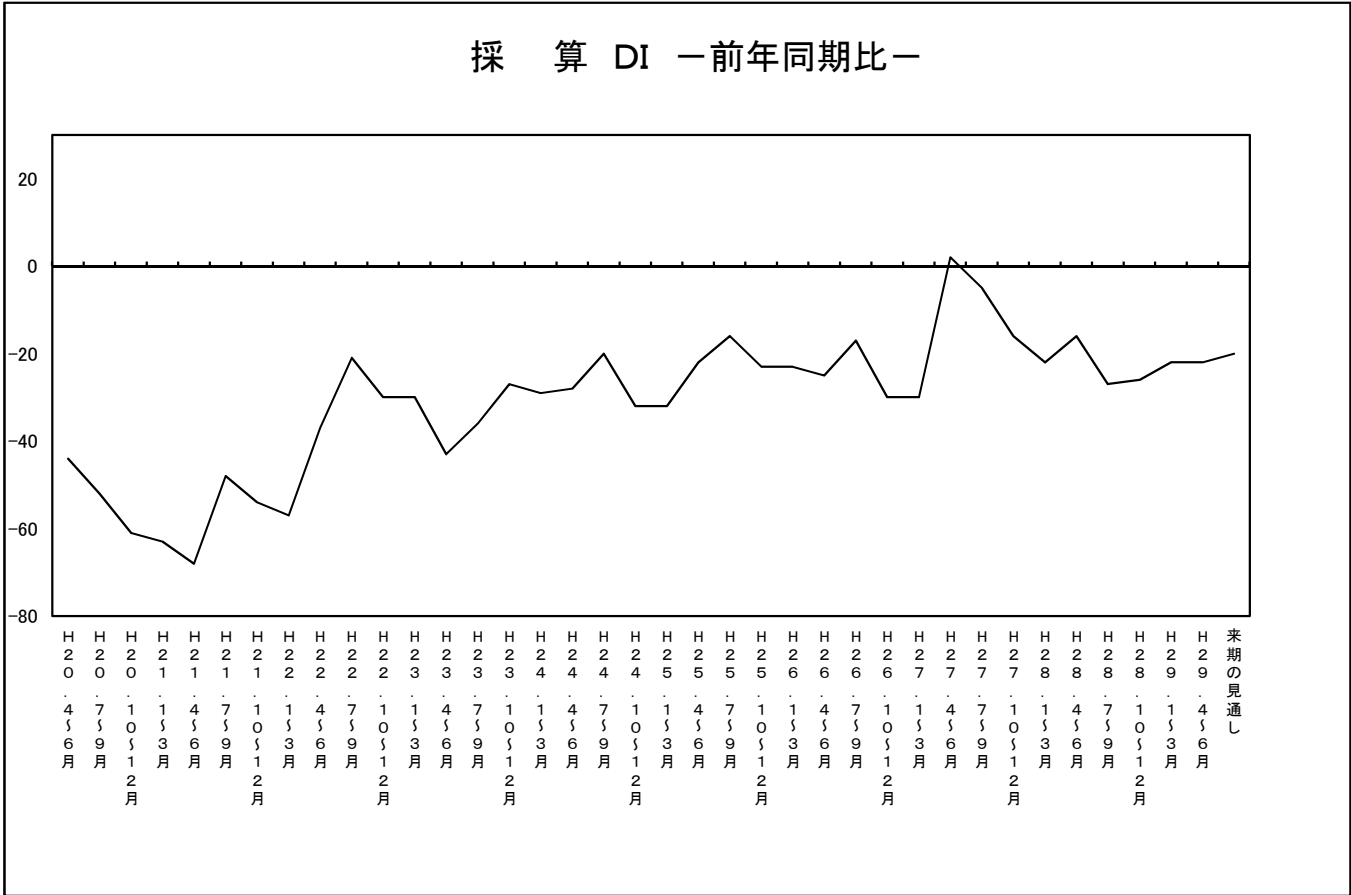
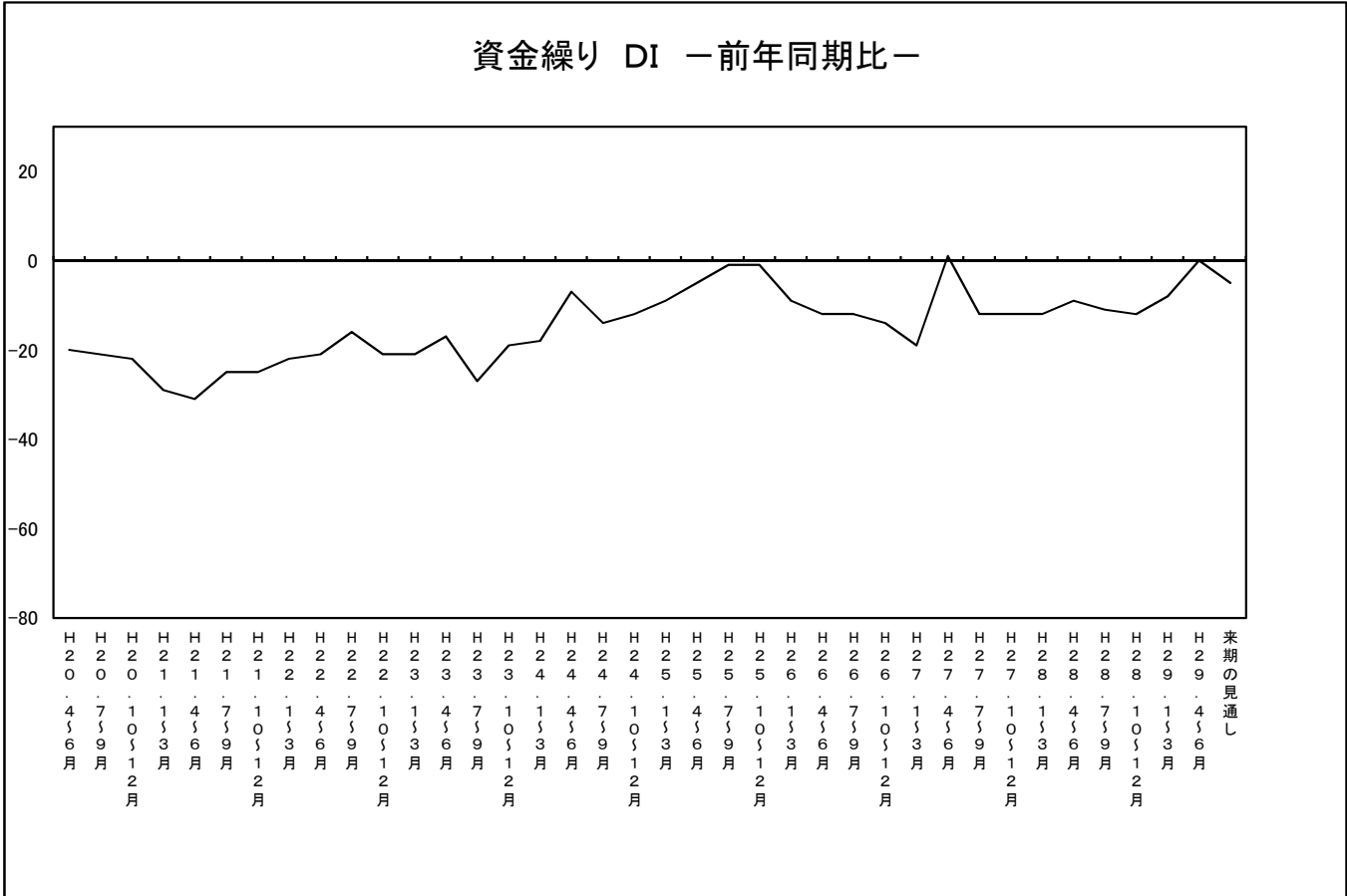
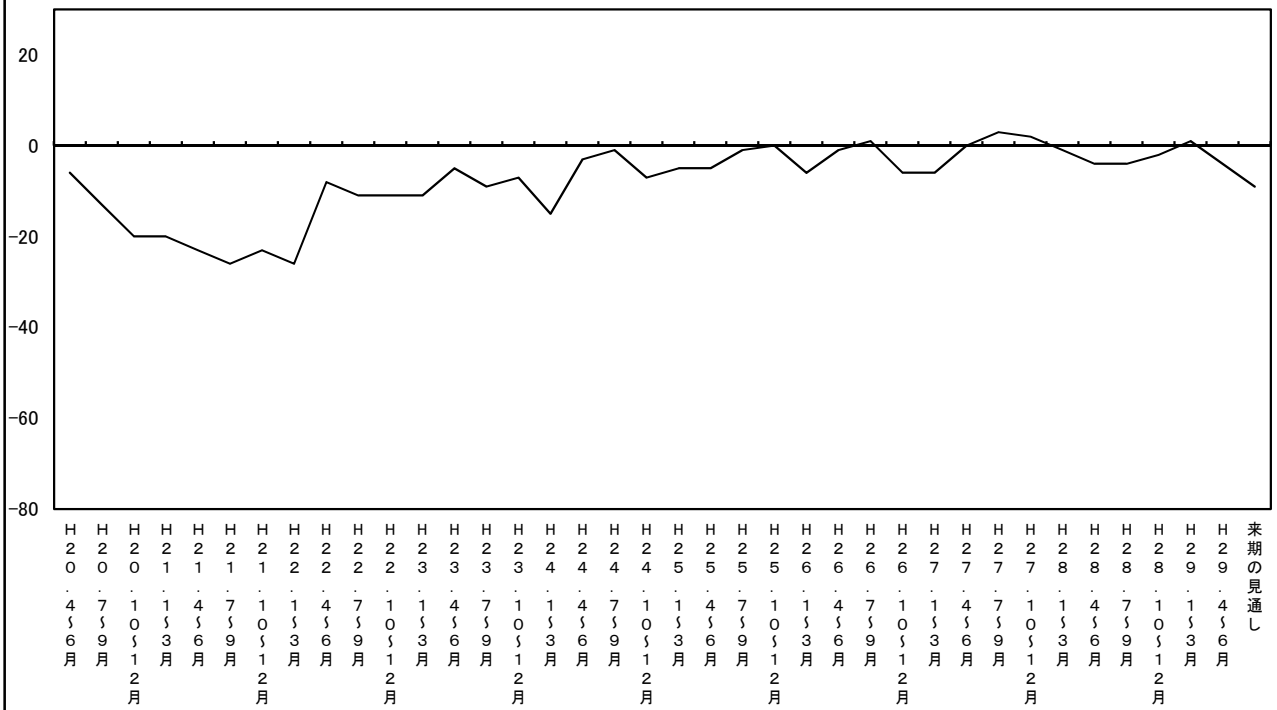


図 5



従業員 DI - 前年同期比 -





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp